

Vision ビジョンのある教育活動を目指して

平成31年度の4月が終わります。明日から10連休です。次に登校する時は令和の時代になっています。

組織のビジョン 自分自身やチームメンバー 学校の将来の未来像 未来の光景
卒業するときの生徒の姿を昨年度共有しました。

「自分のことは自分です 必要があれば助けを求められる
人と関わりながら主体的に生きていこうとする」

社会に出たとき、周囲の人と関わりながら、困難に出会っても自力でまたは助けを求めながら乗り越え、自らが進んで未来を切り開いていくことができるような力を育成できる学校を目指して取り組んでまいります。
各学部主任の学部経営ビジョンをご紹介します。

幼稚部のビジョン 主任 亀田 新也

喜んで人とかかわり、自ら伝え合おうとする幼稚部にしたい。

- 1 「人とかかわり」を意識した活動を計画し、授業実践する。
- 2 保護者と連携し、幼児の指導・支援にあたる。

小学部のビジョン 主任 木村 一子

学力と言語力が育つ小学部にしたい。

- 1 学習態度の基礎・基本を確実に身に付けられるように、支援方法を探り実践する。
- 2 言語力や思考力を高めたり、表現力を育てたりするために、読書活動を充実させる。

中学部のビジョン 主任 岩田 智子

「北風と太陽」人の心を動かすのは、厳しい言動だけではなく、人の心を大事に思う優しさや人とかかわりのあたたかさである。そんな中学部にしたい。

- 1 伝え合う。
- 2 自主学習の習慣を身に付けることができるようにする。

高等部のビジョン 主任 藤田 晴美

わかる授業・生徒の意欲が高まる授業をする高等部にしたい。

- 1 日誌などを活用して、見通しをもって生活し、家庭学習を計画的に行うことができるようにする。
- 2 人の話をしっかり捉え、自分の考えを適切に表現する力を育てる。

寮務部のビジョン 主任 工藤 文紀

自己実現に向けた「自律」と「自立」の心が育っていくように支援する寮務部にしたい。

- 1 舎生一人一人に向き合い、社会生活へのスムーズな移行を目指した生活支援を実践する。

各学部主任の～したいという熱い思いが、お子様の変容として実感していただけるように大人が手を取り合って日々を過ごしていきたいと思っています。

新 任 職 員 の 熱 い 思 い

幼稚部 諏訪内 桂子



思えば聾学校での生活が丸10年。節目の1年がまた、青森聾学校でスタートしました。幼稚部で共に過ごした子供たちが大きく、そして頼もしく。八戸聾学校で共に過ごした子供たちもまた、元気にたくましく。懐かしい顔ぶれに再会できてとてもうれしく思います。幼稚部ではいろいろな体験と人との関わりを通して、心と言葉の育ちを目指します。そのために、子供たちが「楽しい」「面白い」と

感じる経験や、ぐぐっと気持ちが揺らぐ経験を味わってもらえるような授業作りを目指します。そして、子供たちの学習に寄り添う家族の皆さんの声、そして子供たちの心の声に耳を傾けながら、丁寧な関わりをすることが目標です。どうぞよろしくお願いいたします。

幼稚部 石村 豊子



幼稚部たんぽぽ組 副担任 石村豊子です。保育士としての経験はありますが、聾学校での経験は短いので手話を勉強中です。私の今年度の目標は手話をたくさん覚えることと手話で全校幼児・児童・生徒の皆さんと会話を楽しむことです。また、気軽に話しかけてもらえるように、にこにこ笑顔でいたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします

高等部 長谷 紗希



笑顔でいっぱい青ろう。
そのあたたかさに、毎日、廊下や教室であいさつやおしゃべりをするたびに幸せな気持ちになります。ありがとうございます！
手話はまだまだなので、早く覚えてもっともっと全校の皆さんとお話ししたいです。授業（国語）で大事にしたいことは「言葉で相手を知り、自分のことを伝える」ことです。それが、あたたかい青ろうにつながる一助になりますように！

寮務部 中畑 牧子



15年ぶりに青森聾学校に戻ってきて、気づいたことがありました。それは・・・
私の手話が古かった・・・ことでした。
寄宿舍・電車・生徒・・・
手話も時代とともに変化していたのでした。昭和・平成・令和と進んでいます。遅れないように・・・アラフィフ、頑張らせていただきます。よろしくお願いいたします。

寮務部 櫻庭 貴子



始業式での皆さんの「キラキラした目」「すてきな笑顔」を見たときに浮かんだ文字。私の今年の目標は「笑」です。笑顔・笑うなど幸せを感じさせ、楽しい・ワクワク感がする一文字です。
「笑み」の意味を調べたら、つぼみが開く、花の咲くこと、果実が熟し開くという意味のようです。皆さんの持っている素敵なキラキラした力をさかすことができたなら、お手伝いができたらいいなと思います。毎日、楽しくワクワク、笑いながら過ごしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

小学部 中村 和美



青森県立盲学校から来ました。中村和美（なかむら かずみ）です。青森聾学校に勤務すること、小学部に所属することが初めてなので、何もわからず1年生の気分です。少しでも早く幼児児童生徒の名前と顔を一致させ、授業開始に迷惑をかけないように教室の場所も早く覚えたいです。

今年の目標は「コミュニケーション力をつけること」（少しでも多く手話を覚えること）です。よろしくお願いします。

高等部 高坂 美樹



9年前に青森聾学校、5年前に八戸聾学校で勤務していました。そのときの小学部の児童が皆高等部になっていて、とても成長を感じました。生徒はあまり覚えていないようですが、私は新任式での再会が一番嬉しかったです。私の目標は、生徒の自立を支えることです。分からないことの調べ方が分かり、生活に生かしていけるよう、学習の中で支えていきたいです。卓球部で小・中学部と一緒に活動できるのも楽しみにしています。

事務部 立木 良朋



再任用2年目の事務主幹の立木です。
まずは、1年間よろしくお願いします。
目標としては、少し肩の力を抜いて、
楽しく仕事をこなしていきたいと思っています。

新任式での自己紹介。皆さん手話を使って話してくれました。嬉しかったです。
子どもたちに伝わるのは、自分の言葉で、覚えた手話で、私は伝えたいという先生方の「気持ち」です。

今年度は、職員紹介の場面で事務部の皆さんも手話で自己紹介してくれました。
密かに練習して臨んでいました。嬉しかったです。

目の前の人に自分の力で伝えたいという気持ちが、コミュニケーションの入り口です。
気持ちのこもっていない言葉が心に響かないように、通訳を介した言葉で思いを伝えることはなかなか難しいことと思います。
わかり合いたいという気持ちがあれば、自力で伝えようとするはずです。

力強い8人の仲間を迎え、青聾に 本格的な温かい春が やってきました。

春一番の 喜び

入学式。生徒会長 H君の大舞台 歓迎の言葉。緊張したよね。

幼稚部の石山君に「おめでとう」と語りかける場面です。

お利口さんにきちんと座ってお話を聞いているI君。でも3歳さん、目はそれるよね。H君は、自分を見てくれるように話を止めて、I君に呼びかけ手を振り・・。

流せばいいわけじゃなくて伝えることを大事にした、最高の生徒会長 H君。
ありがとう。

